



©Hideki Otsuka

©Yuji Hori

©Makoto Kamiya

©Hikaru Hoshi

©Rowland Kirishima

©Yuji Ueno

©Ayako Yamamoto

©Seiichi Saito

©Yoshinobu Fukaya_auraY2

©Yoshinobu Fukaya_auraY2

©Yoshinobu Fukaya_auraY2

©Shin Yamagishi

©Yoshinobu Fukaya_auraY2

©井村理人

©五味明彦

©Dekou Nakamura

©chutarito2022

CENTRAL AICHI SYMPHONY ORCHESTRA

40th

SINCE 1983

ANNIVERSARY



公益社団法人 セントラル愛知交響楽団

<http://www.caso.jp>

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-8-17 タイドー名駅南第2ビル401 TEL 052-581-3851(10:00~17:30 土日祝休) FAX 052-581-3852

ブラームス、ブラームス、ブラームス

セントラル愛知交響楽団記念の年にあなたもブラームス通

2023年、セントラル愛知交響楽団創立40周年。

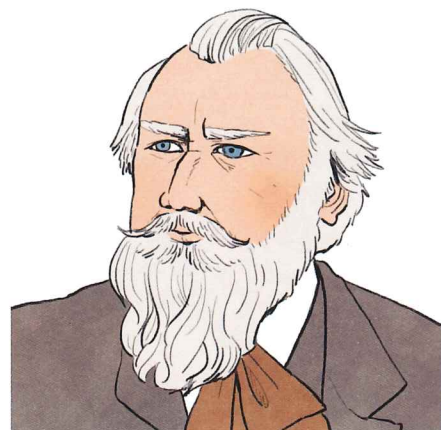
常任指揮者 角田鋼亮とのコンビは益々円熟味を増し、2022年より新しいシリーズも展開するなど、40周年に向けた準備を進めて参りました。

しらかわホールでの定期演奏会最後の年となる2023年シーズンは、ヨハネス・ブラームス生誕190年にもあたることから、4つの交響曲、4つの協奏曲、3つの管弦楽曲、室内楽の管弦楽版など、ブラームスの主要オーケストラ曲を網羅しつつ季節感のある内容としました。

指揮は、角田鋼亮、大友直人、藤岡幸夫、齊藤一郎という個性あふれるメンバー。共演者も、ピアノ協奏曲では小山実稚恵、務川慧悟、ヴァイオリン協奏曲が神尾真由子、二重協奏曲はヴァイオリン島田真千子、チェロ石川祐支という豪華な顔ぶれが揃いました。そして、クラリネットソナタは当団楽団員の箱崎由衣が務めます。

チャイコフスキー交響曲第5番、ドヴォルザーク交響曲第6番なども加え、しらかわホール最後の締めは、ベートーヴェン交響曲第5番「運命」。

充実したラインナップをお楽しみください。



第196回 「春・声」

2023年 5/13(土)
(13:45開場 14:30開演)

指揮/角田 鋼亮(常任指揮者)
ヴァイオリン/島田 真千子*
チェロ/石川 祐支*
ディリアス:春の牧歌
ブラームス:ヴァイオリンとチェロのための
二重協奏曲短調 Op.102*
ブラームス:交響曲第1番短調 Op.68



発売日:一般 2/15
(会員先行 2/13・14)

第198回 「夏・夢」

2023年 7/9(日)
(13:45開場 14:30開演)

指揮/角田 鋼亮(常任指揮者)
ピアノ/小山 実稚恵*
ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲
ブラームス:ピアノ協奏曲第1番二短調 Op.15*
ドヴォルザーク:交響曲第6番二長調 Op.60



発売日:一般 4/12
(会員先行 4/10・11)

第201回 「冬」

2024年 1/19(金)
(18:00開場 18:45開演)

指揮/齊藤 一郎(首席客演指揮者)
クラリネット/箱崎 由衣*
ホルスト:冬の牧歌
ブラームス(ルチアーノ・ペリオ編曲):クラリネット
ソナタ第1番短調 Op.120-1(管弦楽版)*
ブラームス:交響曲第4番短調 Op.98



発売日:一般 10/25
(会員先行 10/23・24)

第200回記念 「祝典」

2023年 11/10(金) (18:00開場 18:45開演)

指揮/角田 鋼亮(常任指揮者)
ピアノ/務川 慧悟*

ブラームス:ピアノ協奏曲第2番変ロ長調 Op.83*
チャイコフスキー:交響曲第5番短調 Op.64



発売日:一般 8/23(会員先行8/21・22)

第197回 「初夏・爽」

2023年 6/24(土)
(13:45開場 14:30開演)

指揮/大友 直人
ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲
Op.56a
メンデルスゾーン:組曲「夏の夜の夢」
ブラームス:交響曲第2番二長調 Op.73



発売日:一般 3/15
(会員先行 3/13・14)

第199回 「秋・愛・哀」

2023年 9/15(金)
(18:00開場 18:45開演)

指揮/藤岡 幸夫
ブラームス:大学祝典序曲短調 Op.80
ブラームス:悲劇的序曲二短調 Op.81
ヴォーン・ウィリアムズ:トマス・タリスの主題
による幻想曲
ブラームス:交響曲第3番長調 Op.90



発売日:一般 6/14
(会員先行 6/12・13)

第202回 「高みに向かって」

2024年 2/23(金・祝)
(13:45開場 14:30開演)

指揮/角田 鋼亮(常任指揮者)
ヴァイオリン/神尾 真由子*
ステファンマル:演奏会用序曲「エクセシオール」
(天の高みに昇らん)
ブラームス:ヴァイオリン協奏曲二長調 Op.77*
ベートーヴェン:交響曲第5番短調 Op.67



発売日:一般 11/22
(会員先行 11/20・21)

三井住友海上 しらかわホール

チケット料金/全指定席

プラチナ席 6,000円
A席 5,000円 B席 4,000円 C席 3,000円
U25席 1,000円

※未就学児入場不可

※U25席は座席指定不可、公演日に25歳以下対象、要身分証明書、当団事務局のみの取扱い。
※公演内容は2022年11月現在のものです。
やむを得ない事情で公演の中止または出演者・演奏曲目・曲順等が変更になる場合がございます。

充実の指揮者たち



角田 鋼亮 (常任指揮者)

Kosuke Tsunoda

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年第4回カラヤン生誕100周年記念の同コンクール第2位。ベルリン・コンツェルトハウス管、N響、都響、読響、東響、東京フィル、名古屋フィル、大阪フィル等と共演。2016-2020年、大阪フィル指揮者。現在、セントラル愛知響常任指揮者、仙台フィル指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。

©Hikaru Hoshi



大友 直人

Naoto Otomo

桐朋学園在学中に22才でNHK交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている日本を代表する指揮者のひとり。これまでに日本フィル正指揮者、大阪フィル専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督を歴任。現在東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、高崎芸術劇場芸術監督。大阪芸術大学教授。京都市立芸術大学、洗足学園大学各客員教授。

©Rowland Kirishima

藤岡 幸夫

Sachio Fujioka

英国王立ノーザン音大指揮科卒業。最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例受賞。1994年ロンドン「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降多くの海外オーケストラに客演。BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30)に指揮・司会として出演中。関西フィル首席指揮者(2023年が24シーズン目)、東京シティ・フィル首席客演指揮者。



©Shin Yamagishi

齊藤 一郎 (首席客演指揮者)

Ichiro Saito

福井県出身。東京学芸大学、及び東京藝術大学音楽学部指揮科卒業後、文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンで研鑽を積む。東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。国内主要オーケストラに客演を重ねる他、スロヴァキア・フィルはじめ複数の東欧圏のオーケストラとも共演している。2009~2014年セントラル愛知交響楽団常任指揮者、現在、同団首席客演指揮者。2014~2019年京都フィルハーモニー室内合奏団音楽監督。



©Okoku Nakamura

彩り豊かな共演者



©hutarito2022

島田 真千子
(ヴァイオリン)

Machiko Shimada

東京藝術大学を首席で卒業後、デトモト音楽大学院を最優秀で修了。日本音楽コンクール2位、パガニーニ国際、J.S.バッハ国際コンクール等に入賞、愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。2000年白サیتالデビュー以降、様々なオーケストラと共演。現在、セントラル愛知交響楽団ソロコンサートマスター、水戸室内管弦楽団、ヴェリタス弦楽四重奏団のメンバー。使用楽器はNPO法人イェローエンジェルより貸与中のG.B.ガダニーニ(1769年)。



石川 祐支
(チェロ)

Yuji ishikawa

8歳よりチェロをはじめ、東京音楽大学へ特待生として進学、同大学を首席で卒業。2001年に研究科を終了。1998年第8回日本室内楽コンクールで第2位入賞、1999年には第68回日本音楽コンクールで第1位(第2位該当なし)を獲得、併せて黒柳賞も受賞。東京交響楽団首席奏者を経て、2005年より札幌交響楽団首席奏者。2010年第19回道銀芸術文化奨励賞受賞。北海道教育大学岩見沢校非常勤講師を務める。



©Hideki Otsuka

小山 実稚恵
(ピアノ)

Michie Koyama

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー、ショパンの二大国際コンクール入賞以来、常に第一線で活躍。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、数多くの演奏会にソリストとして指名されている。CDはソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び32枚をリリース。著書に「点と魂と」。平野昭氏との共著「ベートーヴェンとピアノ」。17年度紫綬褒章受章。



©Yuji Ueno

務川 慧悟
(ピアノ)

Keigo Mukawa

東京藝術大学を経て、2014年パリ国立高等音楽院に審査員満場一致の首席で合格。ピアノ科第3課程、室内楽科第1課程修了。2021年世界三大コンクールの一つであるエリザベト王妃国際音楽コンクール第3位受賞。2019年ロン・ティボー・オーケストラ国際コンクール第2位受賞。歴史と伝統ある2つコンクールの上位入賞で大きな注目を集め、現在は日本、ヨーロッパを拠点にソロ、オーケストラとの共演、室内楽と幅広く演奏活動を行っている。



箱崎 由衣
(クラリネット)

Yui Hakozaki

茨城県出身。東京音楽大学卒業。第30回日本管打楽器コンクール第1位。併せて特別大賞、内閣総理大臣賞、東京都知事賞、文部科学大臣賞を受賞。第6回日本クラリネットコンクール4位入選。2015年10月に渡独。1年間、ハンブルク音楽院にて研鑽を積む。NHK交響楽団「N響アカデミー」を経て、現在セントラル愛知交響楽団1stクラリネット奏者。愛知県立芸術大学非常勤講師。ピュッフ・エ・クランボン契約講師。



©Makoto Kamiya

神尾 真由子
(ヴァイオリン)

Mayuko Kamio

2007年第13回チャイコフスキー国際コンクールを優勝して以降、常に第一線で活躍を続けている世界を代表するヴァイオリニスト。国内の主要オーケストラはもとより、ミュンヘン・フィル、イスラエル・フィル、BBC響など世界有数のオーケストラとも共演を重ねている。楽器は宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1731「Rubinoff」を使用している。第13回光音楽賞、文化庁長官表彰をはじめ数々の賞を受賞。東京音楽大学教授。

セントラル愛知交響楽団



1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎える。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2022年度からは「超!有名人シリーズ」など新シリーズをスタートし意欲的な試みを企画している。

2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベンクラブ賞」受賞。



40周年記念公演の数々は、一味違う

～3年ぶりの第九、オペラセミステージもスタート～

超！有名曲シリーズ

好評な「松尾葉子指揮・超！有名曲シリーズ」が、「イタリア」、「ドイツ」、「北欧」と続きます。「イタリア」ではレスピーギの超有名曲「ローマ三部作」を一挙演奏。

愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 5,000円 (Sペア券 7,000円)

A席 4,000円 (Aペア券 5,600円)

B席 3,000円 C席 2,000円 U25席 1,000円

■Vol.3「イタリア」

2023年4月21日(金) 18:45開演
レスピーギ:ローマ三部作(噴水、松、祭り) 他

■Vol.4「ドイツ」

2023年7月27日(木) 18:45開演
ベートーヴェン:交響曲第6番「田園」 他

■Vol.5「北欧」

2023年10月20日(金) 18:45開演
ピアノ/居福 健太郎 グリーグ:ピアノ協奏曲 他

指揮/松尾 葉子(特別客演指揮者)



■松田 華音 Vol.1

2023年4月5日(水) 18:45開演

指揮/齊藤 一郎(首席客演指揮者)

【ピアノソナタ】チャイコフスキー:《18の小品》作品72より

第2番(子守歌)、第3番(穏やかなおしかり)、第8番(対話)

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第3番

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番



©五味明憲

Wコンチェルトシリーズ

一人の演奏家が2曲の協奏曲とソロを演奏する「Wコンチェルトシリーズ」には、人気急上昇中の若手ピアニスト松田華音が初登場。演奏機会が少ないチャイコフスキーの協奏曲第3番を選曲した彼女の個性にご注目。金子三勇士のVol.2は、リストの協奏曲第2番とベートーヴェン「皇帝」という魅力あふれる組み合わせ。今年も若い演奏家たちの熱気あふれる「挑戦」から元気をもらえそうです。

愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 5,000円 (Sペア券 7,000円)

A席 4,000円 (Aペア券 5,600円)

B席 3,000円 C席 2,000円 U25席 1,000円

■金子 三勇士 Vol.2

2023年9月29日(金) 18:45開演

指揮/小松 長生(桂冠指揮者)

【ピアノソナタ】調整中

リスト:ピアノ協奏曲第2番

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」



©五味明憲

オペラセミステージシリーズ

40周年を機にスタートする注目のプログラム、東京二期会のモーツァルトスペシャリストユニットMSJ[モーツァルトシンガーズジャパン]との共演第1弾は、歌劇「ドン・ジョヴァンニ」のセミステージ。2022年2月、東京・王子ホールでの公演が早々に完売し、雑誌等で絶賛されたピアノバージョンを、今回は角田鋼亮指揮のオーケストラバージョンにグレードアップしてお届けします。主役はもちろん、このドン・ジョヴァンニでオペラデビューをした宮本益光。

2023年5月20日(土) 刈谷市総合文化センター

2023年5月21日(日) 三重県文化会館

SS席 7,000円 S席 5,000円 A席 4,000円

B席 3,000円 U25席 1,500円

■モーツァルト歌劇「ドン・ジョヴァンニ」

指揮/角田 鋼亮(常任指揮者)

ナレーション/長谷川 初範

キャスト/宮本 益光、伊藤 純、針生 美智子、

望月 哲也、文屋 小百合、原田 圭、

近藤 圭、三井 清夏



©Hikaru Hoshi



©Yoshinobu Fukaya, auran2

©Yoshinobu Fukaya, auran2

©Yoshinobu Fukaya, auran2

©井村直人

■森麻季ソロドヴォルザーク歌劇「ルサルカ」より“月に寄せる歌”

■ベートーヴェン交響曲第9番「合唱付」



指揮/角田 鋼亮(常任指揮者) ソプラノ/森 麻季 メゾソプラノ/谷田 育代

テノール/中井 亮一 バス/伊藤 貴之



©Hikaru Hoshi

©Hikaru Hoshi

40周年記念特別演奏会

12月には、森麻季、谷田育代、中井亮一、伊藤貴之をゲストに迎え、ベートーヴェン「第九」の40周年記念特別演奏会。前半では、森麻季の歌曲もお楽しみいただけます。

2023年12月22日(金)

愛知県芸術劇場コンサートホール

ハイドンのロンドン精神 Vol.4

指揮/角田 鋼亮(常任指揮者)

ミヒャエル・ハイドン:交響曲39番ハ長調

ハイドン:交響曲第99番変ホ長調

ハイドン:交響曲第100番ト長調「軍隊」

2023年12月8日(金) 18:45開演

電気文化会館ザ・コンサートホール

一般 4,000円 U25席 1,000円



©Hikaru Hoshi

■第91回日本音楽コンクール受賞記念演奏会

2023年4月14日(金) 愛知県芸術劇場コンサートホール

■第29回岩倉定期演奏会

(日程調整中) 岩倉市総合体育文化センター

■第13回稲沢特別演奏会 名曲コンサート

(日程調整中) 名古屋文理大学文化フォーラム

■金城学院大学×セントラル愛知交響楽団ガラコンサート2023

2023年11月11日(土) 三井住友海上しらかわホール

■金城学院大学×セントラル愛知交響楽団メンバーによる室内楽コンサート2023

(日程調整中) 電気文化会館ザ・コンサートホール

「お客様の満足度NO.1オーケストラへの挑戦」

飛躍するセントラル愛知交響楽団へ皆様のご支援をお願いいたします。